

森林作業者やアウトドア愛好者の皆様へ 冬もヒグマに注意！

平成27年1月26日、釧路管内の山林において、森林施業に従事していた男性がヒグマに襲われ死亡する事故が発生しましたが、同様の事故は過去にも発生しています。

【冬期間（1/1～3/15）に発生したヒグマによる人身事故（S37年度以降）】

発生年月日	発生場所	事故発生時の活動	被害者		被害程度
			性別	年齢	
昭和55年2月25日	網走管内	森林作業	男	50才	重傷
平成2年3月7日	空知管内	森林作業	男	52才	軽傷
平成7年2月13日	網走管内	森林作業	男	51才	負傷
平成27年1月26日	釧路管内	森林作業	男	64才	死亡
平成27年2月2日	釧路管内	森林作業	男	74才	重傷

一般的にヒグマは冬眠しますが、冬は絶対にヒグマに遭遇しないということではありません

- ヒグマは冬期間、山林内の地中に掘った穴の中など（冬眠穴）で冬眠しますが、周囲の音や振動などで目を覚ますことがあります。
- 冬眠穴は、北海道内の山林ならどこにでもある可能性がある一方、雪に覆われているなどにより、外見から見つけることは困難です。
- 森林施業に伴う作業や山スキーなどの野外活動は、冬眠中のヒグマを起こす可能性があり、その結果、人身事故に至ることがあります。

近年、冬眠しないヒグマも確認されているため、冬の間も次のことについて注意してください

- 近年の出没情報収集の結果から、冬期間でも出没が確認されていますので、粪や新しい足跡などの痕跡などを見たら、すぐに引き返しましょう。
- 活動する地域のヒグマの生息状況などについて、事前に市町村役場や北海道獣友会支部などから情報収集するようにしましょう。